

第九回 丸山眞男記念比較思想研究センター公開研究会

松本礼二『知識人の時代と丸山眞男』合評会

山 辺 春 彦

二〇二〇年度（第九回）の東京女子大学丸山眞男記念比較思想研究センター公開研究会は、松本礼二氏（早稲田大学名誉教授）のご著書『知識人の時代と丸山眞男・比較二〇世紀思想史の試み』（岩波書店、二〇一九年）の合評会として行われました。

会は、著者である松本氏をお招きし、鷲巢力氏（立命館大学加藤周一現代思想研究センター長）、宇野重規氏（東京大学教授）、趙星銀氏（明治学院大学専任講師）よりご報告いただきました。その後に行われた討論には、渡辺浩氏（東京女子大学丸山眞男文庫顧問、東京大学名誉教授）にも加わっていただきました。

各報告のタイトルは次の通りです。

鷲巢力「松本礼二著『知識人の時代と丸山眞男』」

宇野重規「松本礼二・丸山眞男・トクヴィル」

趙星銀「戦後自由主義」の思想史——松本礼二『知識人の時代と

丸山眞男・比較二〇世紀思想史の試み』（岩波書店、二〇一九年）を手掛かりに」

今回の公開研究会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会の模様を撮影した録画を配信するという形での開催となりました。

本『報告』には、各報告のフルペーパーをご寄稿いただきました。

また、報告後に行われた討論の記録をあわせて掲載しております。

松本礼二氏、鷲巢力氏、宇野重規氏、趙星銀氏、渡辺浩氏に深く感謝申し上げます。